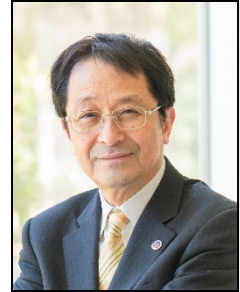




2019年度防災・日本再生シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会
会長 永田 恭介(筑波大学長)

2019年度防災・日本再生シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、2004年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

特に今年度からは、国立大学の強みについてそれぞれの大学がその地域に対して発信を行うだけでなく、近隣の国立大学などの協力を得るなどの多様な方法により発信を行うことによって、国立大学の改革の内容や存在意義等を、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様にご理解をいただけるよう努力してまいります。そのため、複数の国立大学による共同開催を優先的に支援いたしました。3.11東日本大震災を契機に、2011年度からは、震災による未曾有の危機を克服し日本の再生に貢献するため、国立大学が平素から実践・蓄積している国土の防災や災害復旧・復興に関するシンポジウムを防災・日本再生シンポジウムとして支援しております。こうした活動を展開することによって、東日本大震災等の経験を生かし、将来の大震災への対応に、国立大学が研究や教育を通して貢献できることを期しております。

本日開催される防災・日本再生シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある内容となっております。本日は、参加者の皆様方からご意見をいただくとともに、防災を含めて地域貢献にかかわる国立大学の教育・研究が一層発展する機会となり、さらに地域で防災にかかわる活動をおられる住民の方々、地元の自治体、政財界との方々とのより緊密な連携が強化される機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。